

様式第2号

公認会計士企業年金基金
出産祝金請求書

※記載上の注意が裏面にありますので、必ずお読みの上ご記入下さい。

令和 年 月 日

請 求 者	氏名	フリガナ			加入者番号		性別	男・女
	住所	〒 ー TEL ()			生年月日	昭和 平成	年 月 日	
者	出産年月日	令和 年 月 日	出生児の氏名		出生児の数	単胎 多胎	児	
	配偶者が 出産した 場合に記入	配偶者の氏名		配偶者の 生年月日	昭和 平成	年 月 日		
事 業 所	名称		事業所 番号					
	所在地	〒 ー TEL ()						
事 業 主 証 明 欄	上記のとおり、相違ないことを証明します。 令和 年 月 日 事業主氏名							
委 任 欄	出産祝金の受領を事業主 _____ に委任します。 令和 年 月 日 委任者 (請求者) 氏名							
給 付 金 の 振 込 先	口座名義	フリガナ			基金受付欄			
	銀行名等			本支店名				
		預金種目			口座番号			
	ゆうちょ銀行	通帳記号			通帳番号			

※「支給決議書」欄は、基金で使用する欄ですので記入しないで下さい。

支 給 決 議 書	決裁年月日	令和 年 月 日	常務理事	事務長	課長	担当者
	支給年月日	令和 年 月 日				
	支給金額	10,000円× 人= 円	資格取得 年月日	昭和 平成 令和 年 月 日	加入者 期間	年 ヵ月
			資格喪失 年月日	令和 年 月 日		

記 載 上 の 注 意

(出産祝金の支給要件と支給金額等)

1. 出産祝金の支給要件は、次のとおりです。
 - (1) 公認会計士企業年金基金の加入者期間（以下「加入者期間」といいます。）が1年以上ある加入者が、出生児を出産したとき
 - (2) 加入者期間が1年以上ある加入者の配偶者（内縁関係にある者を含みます。以下同じ）が、出生児を出産したとき
 - (3) 加入者期間が1年以上ある加入者が、加入者の資格を喪失した後、3ヵ月以内に出生児を出産したとき
2. 出産祝金の支給金額は、出生児一人につき10,000円です。
3. 出産祝金は、出産した日から1年以内に請求して下さい（1年を経過すると請求権が消滅し、請求できなくなります）

(記載要領及び添付書類)

4. 「氏名」欄及び「生年月日」欄には、請求者（加入者又は加入者であった者。以下同じ）の氏名及び生年月日を記入して下さい。
5. 「加入者番号」欄には、公認会計士企業年金基金（以下「基金」といいます）の加入者番号通知（又は厚生年金基金加入員証）の番号を記入して下さい。
6. 「出生児の数」欄は、出生児が一人の場合には「単胎」に○印をして下さい。出生児が二人以上の場合には「多胎」に○印をし、出生児の数を必ず記入して下さい。
7. 加入者の配偶者が出産した場合は、配偶者の氏名及び生年月日を「配偶者の氏名」欄並びに「配偶者の生年月日」欄にそれぞれ記入して下さい。
8. 「事業所番号」欄には、基金の事業所番号を記入して下さい。
9. 「事業主証明欄」には、出産に関して事業主の証明を受けて下さい。なお、11の出産を証する書類をこの請求書に添付される場合は、「事業主証明欄」の記入は不要です。
10. 1の(1)及び(2)に該当する者の出産祝金は、事業主を通じて請求者にお支払いしますので、「委任欄」に氏名等を記入して下さい。なお、加入者の資格を喪失している者については、直接、請求者にお支払いすることもできます。その場合は、「委任欄」の記入は不要です。
11. 「事業主証明欄」に事業主の証明がない者及び1の(3)に該当する者が請求する場合は、出産を証する書類（出生児の生年月日・親子関係がわかり、公的機関又は医療機関の証明がある書類）をこの請求書に添付して下さい。

(添付書類の例)

- ・ 戸籍抄（謄）本又は住民票
- ・ 母子手帳（子の保護者・出生届出済証明欄の頁）の写し
- ・ 出生届・出生証明（両頁）の写し 等

12. 「給付金の振込先」欄は、次により記入して下さい。
 - (1) 出産祝金の受け取りを事業主に委任した場合には、受任した事業主の預金口座等について記入して下さい。
 - (2) (1)以外の場合には、請求者本人の預金口座等について記入するとともに、この請求書に、当該預金口座（預金通帳等）の写し（金融機関・支店名、口座名義人、預金種目及び口座番号が記載されている頁）を添付して下さい。
 - (3) 振込先の「金融機関名」及び「本支店名」欄には、「〇〇銀行」、「〇〇信託銀行」、「〇〇支店」、「〇〇出張所」など、正式な名称及び本支店名をご記入ください。